



《表紙の風景》

並木道 灌木帯 そして花壇
さまざまに工夫された
リバーハープタワー南千住
(東京都荒川区)がある街
なみ 色づきはじめてト

編集後記

特別寄稿の進士五十八学長のかねがねの提唱は、20世紀の「農村の都市化」の反省による21世紀の「都市の農村化」です。

都市における自然の回復、農的環境の創出はさまざまに試みられています。しかし現代の都市が農村に戻るはずがないわけで、都市づくりにおいてその理念は次の手法を徹底することで具体的に実現が可能とされています。

すなわち①建築の領域での「省エネ建物」
②造園の領域での「都市緑化」 ③土木の領域での「透水性舗装」の3つに要約され、いわゆるエコシティを創出することです。

それは都市機構の理念にもある「人が輝く都市をめざして」につながるものです。

この創刊2号はこれらの視点から都市における「自然のレネッサンス」を特集しました。ご批評ご感想をお寄せください。

都市機構における コンプライアンスへの取り組み

都市機構は、都市再生を担う公的機関であるとともに、お客さま満足第一の立場に立って効率的な業務遂行が求められる経営体であることから、機構の役職員は、機構がお客さまや社会から信用・信頼され、経営体として存続・発展していくために、日常業務においてコンプライアンスに対し真摯な姿勢で取り組んでいます。

コンプライアンス行動規範の策定

機構では、本年10月に、役職員一人ひとりがコンプライアンスの実践にあたりとるべき行動の基準として「コンプライアンス行動規範」を策定しました。

- 公正で清廉な職務への取り組み
 - 法令等の遵守 ●公私のけじめ ●不当な要求への毅然とした対応
- 事業パートナーとの節度ある関係
 - 役職員倫理規程の遵守
 - 国や地方公共団体等の職員との公正な関係
- 情報の適正な管理
 - 機密情報の保持 ●個人情報の保護 ●知的財産の尊重
- 良好な職場環境づくり
 - 人権・人格の尊重 ●風通しの良い職場づくり
- 問題への迅速・的確な対応
 - 問題の速やかな報告

CS向上宣言：ベストコミュニケーションを目指して

都市機構は、皆様のご期待に応えるため、これまで培ってきた技術やノウハウを活かし、「CS(お客様満足)」、「Challenge(挑戦)」、「Speedy(迅速)」を信条として、人が輝く都市をめざして、美しく安全で快適なまちを実現すべく、日々業務に取り組んでいます。

今後、都市機構は、お客様満足を第一に考え、役職員一人ひとりが、お客様の視点に立って行動することにより、これまで以上に、皆様の声に耳を傾け、皆様のご期待にお応えできるよう、努力を続けてまいります。

都市機構のCS推進方針

《お客様とともに》

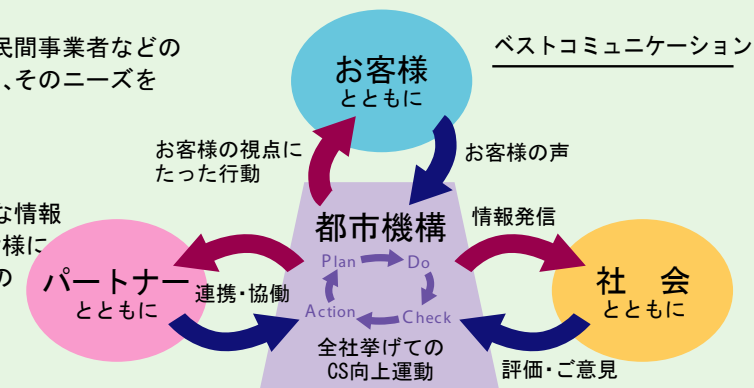
- ◆ お客様からのご意見・ご要望に積極的に耳を傾けます。
- ◆ お客様の声を大切に、役職員一人ひとりがお客様の視点に立って行動します。
- ◆ お客様のニーズを的確に反映し、お客様にご満足いただけるサービスの向上を目指します。

《パートナーとともに》

- ◆ 地域住民・地方公共団体、民間事業者などの皆様との連携・協働を図り、そのニーズを的確に事業に反映します。

《社会とともに》

- ◆ 機構業務に関する積極的な情報発信に努めるとともに、皆様にとってわかりやすく価値の



季刊「ユールプレス・秋号」
Vol. 2(2004年11月)
発行 独立行政法人都市再生機構
〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町6-50-1
横浜アイランドタワー Tel. 045-650-0881
編集・制作 (株)日本経済社
(株)リブアソシエーツ

今回ご紹介のトピックスの詳細
およびその他UR情報は
都市機構ホームページにて
ご覧になれます。



<http://www.ur-net.go.jp>

第1回 都市再生フォーラム

『活かす。』 開催のお知らせ
震災復興の経験を、人が輝く都市へ

開催日時 2004年11月30日(火) 13:00~16:30
会場 よみうりホール (定員1,000人)
千代田区有楽町1-11-1 読売会館7階

プログラム

開会挨拶：伴 襄 都市再生機構理事長
基調講演：安藤 忠雄氏 (建築家)
パネルディスカッション：
コーディネーター 山崎 登氏 (NHK解説委員)
パネリスト 和泉 洋人氏 (国土交通省大臣官房審議官(住宅局担当))
パネリスト 伊藤 滋氏 (都市計画家、早稲田大学教授)
パネリスト 貝原 俊民氏 ((財)阪神・淡路大震災記念協会理事長、前兵庫県知事)
パネリスト 小林 輝幸氏 (東京消防庁防災部長)
パネリスト 竹下 景子氏 (女優、中央防災会議「東海地震対策専門調査会」委員)